

令和6年度

学校評価アンケート 結果と考察



学校自己評価へのご協力、ありがとうございました。本年度のまとめをご報告いたします。保護者の方からいただいたご意見をもとに、高社小学校での教育活動が、よりよいものとなるようにしてまいります。

中野市立高社小学校

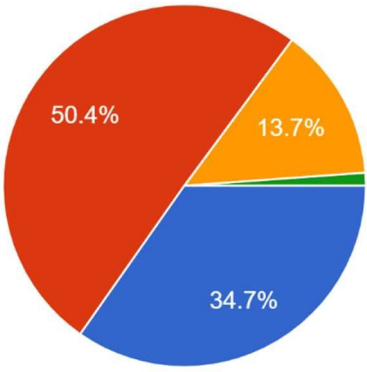
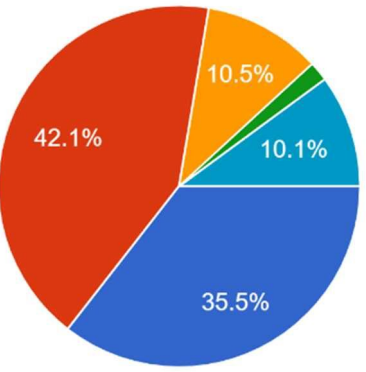
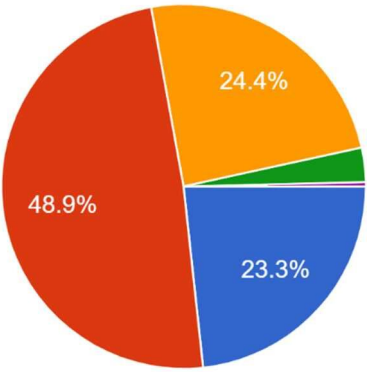
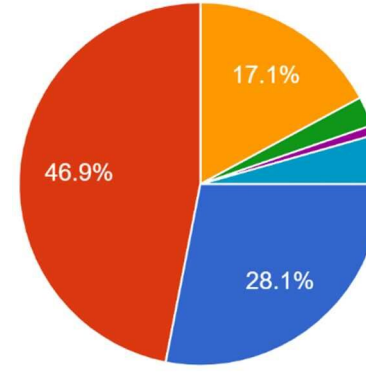
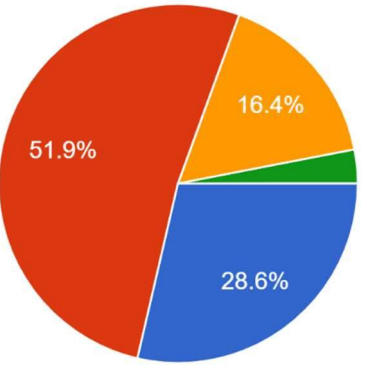
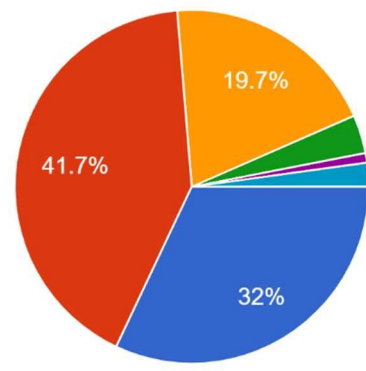
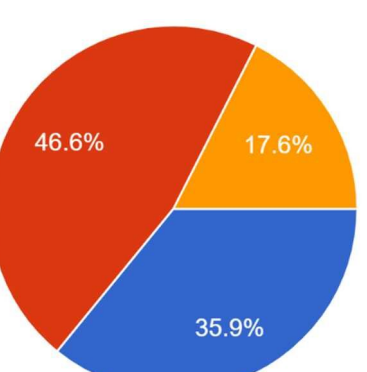
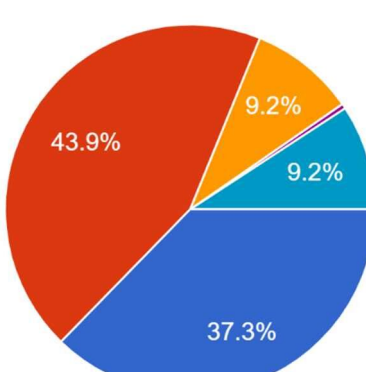
学校評価アンケート＜保護者＞ 結果および考察

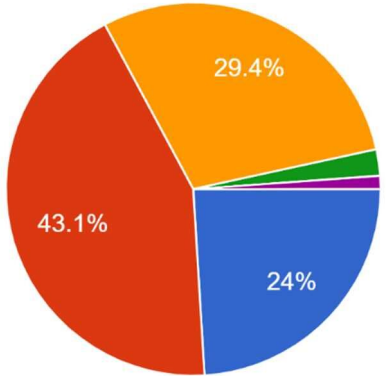
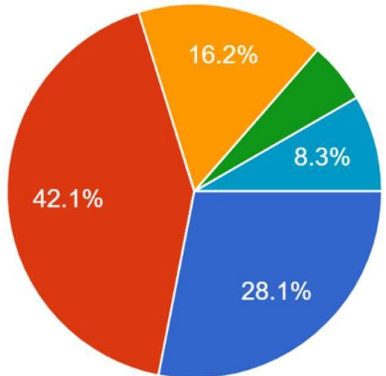
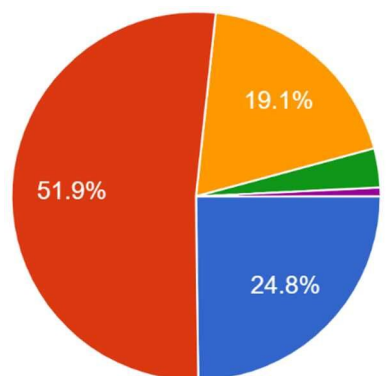
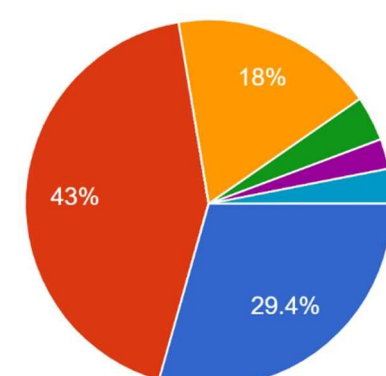
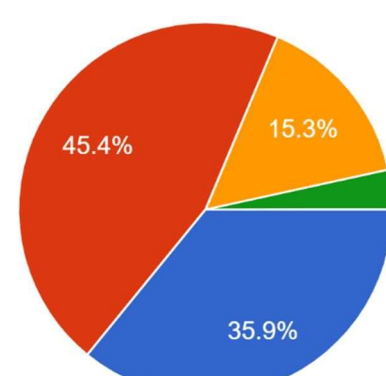
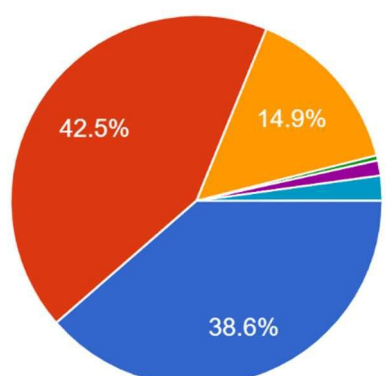
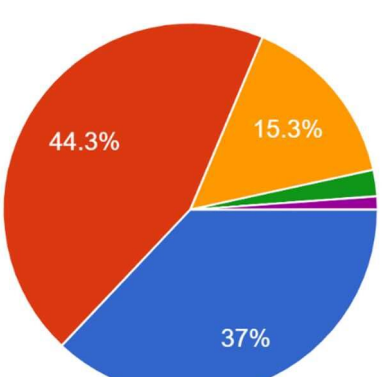
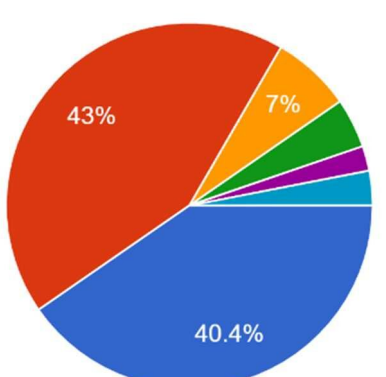
2学期末に保護者の皆様に学校評価アンケートを実施し、児童373名中、その保護者228名の皆様よりご回答をいただきました（回収率61.1%）。質問項目と回答の集計結果は以下のとおりです。職員間でも共有し、今後の学校運営にいかしてまいります。

1 学校の取り組みについて

- A：達成している（そう思う）
 ● B：ほぼ達成している（ほぼそう思う）
 ● C：どちらともいえない
 ● D：あまり達成していない（あまりそう思わない）
 ● E：達成していない（そう思わない）
 ● F：分からない

質問項目	グラフは割合（％）です	
1 学校は、子どもたちが進んで取り組む授業や、教え合ったり考えを伝え合ったりといった学び合う授業づくりに努めている。	令和5年度 	令和6年度
2 学校は、iPad を効果的に利用し、子どもたちが意欲的に学んだり、個に応じて学習に取り組んだりできるよう工夫している。	令和5年度 	令和6年度
3 学校は、体験活動を入れながら子ども達の育成を図っている。（社会見学・栽培活動・農業体験・飼育活動・障がい者体験学習など）	令和5年度 	令和6年度

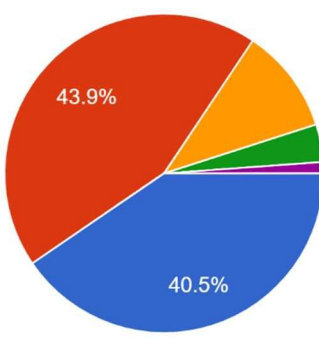
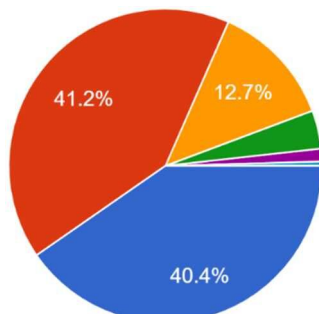
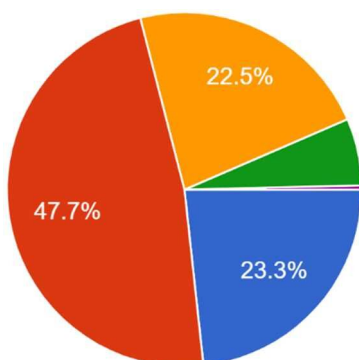
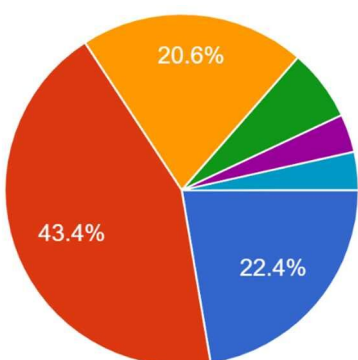
4 学校は、地域人材・ボランティアと連携しながら学習を進めている。(家庭科・習字・水泳授業の監視・安全教室・農業体験・栽培活動・福祉学習・クラブ活動など)	令和5年度 	令和6年度 
5 学校は、学校生活全体を通して、自分や他の人を大切にすることを育てようとしている。	令和5年度 	令和6年度 
6 学校は、読書活動の充実に努めている。	令和5年度 	令和6年度 
7 学校は、集会活動を通して、日常の活動の充実に努めている。(全校集会・体育集会・音楽集会・児童集会・校長講話)	令和5年度 	令和6年度 

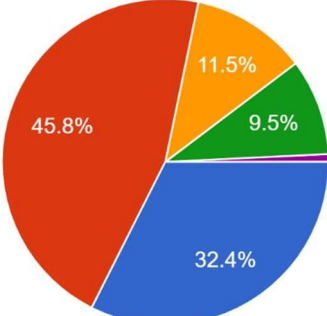
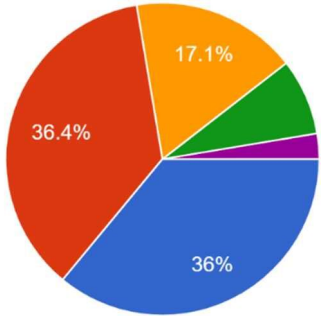
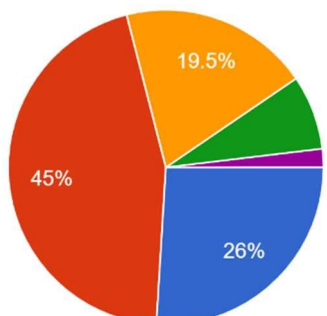
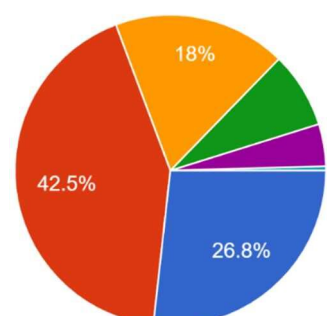
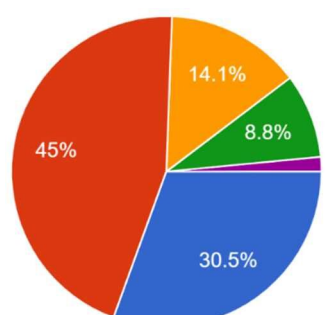
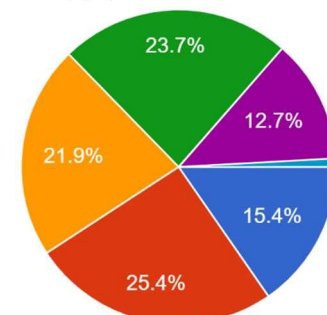
8 学校は、地域や保護者の願いを受け止め、協力しながら教育に取り組んでいる。	令和5年度 	令和6年度 
9 学校は、校内環境、登下校時、防災体制など、子どもたちの健康と安全に気を配っている。	令和5年度 	令和6年度 
10 学校は、学校だより、学年だより、Facebook、tetoru等で児童の様子や学校の願いを分かりやすく伝えている。	令和5年度 	令和6年度 
11 学校は、保護者からの連絡や相談に適切に対応している。	令和5年度 	令和6年度 

高社小学校の本年度の目指す児童の姿は『自己を見つめ、豊かにかかわり合う子ども』です。その姿の実現のために、自分の「なぜ・どうして」を、友だちと力を合わせて（意見を出し合ったり、得意を生かしたりしながら）解決する授業づくりに努め、子どもたちの他者につながる力を育みながら物事の理解を目指してきました。そのような子どもたちの学びを保障するために、子どもたちが安心して学べる環境づくりは欠かせません。例えば、子どもたちが「わからない」ことを伝え、考えたことを語り合える人間関係づくりや、タブレット端末を自分の必要に応じて活用することで、子どもたちが自分にあった学習方法を自分で選択できることです。また、リンゴ栽培やもち米栽培、クラブ活動、生活科・家庭科・水泳学習・書初めの練習・調理活動・クロススキー授業などでは、学校ボランティアの方をはじめ地域の方に子どもたちの学びを支えていただきました。そういった活動の様子を保護者の皆様にお伝えできるよう、積極的に Facebook や tetoru（学校だより・学年だより）で配信してまいりました。

2 お子さんの様子について

- A：達成している（そう思う）
- D：あまり達成していない（あまりそう思わない）
- B：ほぼ達成している（ほぼそう思う）
- E：達成していない（そう思わない）
- C：どちらともいえない
- F：分からない

質問項目	グラフは割合（％）です	
1. お子さんは、学校が楽しいと感じていると思いますか	令和5年度 	令和6年度 
2. お子さんは授業が分かりやすいと感じていると思いますか。	令和5年度 	令和6年度 

3 お子さんは「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣が身についていますか。	令和5年度 	令和6年度 
4 お子さんは、家庭学習の習慣がついていると思いますか。	令和5年度 	令和6年度 
5 お子さんは学校の出来事について話をしますか。	令和5年度 	令和6年度 

『1. 学校が楽しいと感じている』の項目について、「A 達成している」「B ほぼ達成している」との回答が 80%を超えています。ただ、昨年度よりやや減少しているため、子どもたちが学校生活で求めている“楽しい”とはどのようなものなのか、何が“楽しくない”のかなどを具体的に把握できるように、一人一人の子どもたちに寄り添って考え、教育活動に取り入れていきたいと思います。そして、子どもたちが学校での楽しい出来事を、家庭にかえってから保護者の方に話したくなる学校生活になるよう努力してまいります。

『2. お子さんは授業が分かりやすいと感じていますか』の項目については、「A 達成している」「B ほぼ達成している」との回答が、本年度は70%以下となりました。学校生活の大半を占めているのは授業であり、授業が分かって楽しいものになるよう職員の授業改善は必要不可欠です。そこで、本年度も、職員一人一人が公開授業をしたり、NRT検査(児童の学力水準を客観的に把握し、指導成果を確認したり、指導目標を設定したりするためのもの)の結果を受けて研修をしたりと、授業改善のために職員間で学び合う機会をとってきました。これからも「授業が分かって楽しい」「考えることが楽しい」と、児童が実感できるように授業改善に努めていきます。また、児童一人一人の特性や学習到達度に応じて、学習時間を設定したり、学習方法の選択肢を柔軟に用意したりしながら、学習を進めることも大切にしていきたいと思います。

【子どもたちの学校生活に関わること】

◇多くの感謝の言葉とともに、これからも子ども一人一人に寄り添って、生活指導・学習指導をして欲しいというご意見をいただきました。

【行事に関わること】

◇音楽会の体育館フロアは、各家庭1名とアナウンスしていますが、両親、祖父母（2～4人）と大勢で来て座っているお宅が複数みられました。どの家庭も子どもの姿を見たいのは同じだと思います。みんながきまりを守り、気持ち良く参加できたらよいと思います。

【iPadに関わること】

◇iPadが古くて重くて扱いづらいので、新しいiPadにして欲しい。

⇒来年度に新しくなる予定です。

◇iPadで利用して良いアプリを明確にして欲しい。

⇒iPadにあるアプリは、学習に使うために中野市教育委員会が入れてあるものなので、基本的に使って頂いてよいものです。

◇YouTubeを勝手に見ることができないようにして欲しい。

⇒中野市では、情報と上手に付き合える児童の育成を目指しています。学校では、使えなくするというよりも、情報を上手に使えるようになるためにはどうしたらよいかを子どもたちと考えています。是非、ご家庭でもお子さんと話しをして、よりよい情報との付き合い方をみつけてください。

【その他】

◇各学級、PTA活動（校外指導部・資源回収への参加の仕方等）・図書館等に対する個別のご意見をいただきました。各担当者に伝えて、対応を進めています。

◇水泳の授業でラッシュガード着用について、ご質問をいただきました。水泳授業開始前に通知させていただいておりますが、ラッシュガード着用を禁止はしておりません。着用の希望があるときは、学級担任と相談することになっています。ラッシュガードを着用することで、水の抵抗が増え、児童が泳ぎにくくなったり、水泳の技能の向上の妨げになったりするため、ラッシュガードの着用を勧めていません。

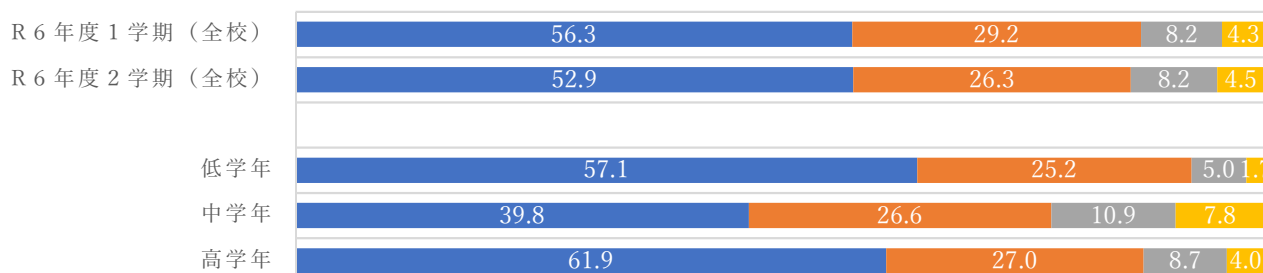
学校生活アンケート 結果と考察

教務

【学校生活】

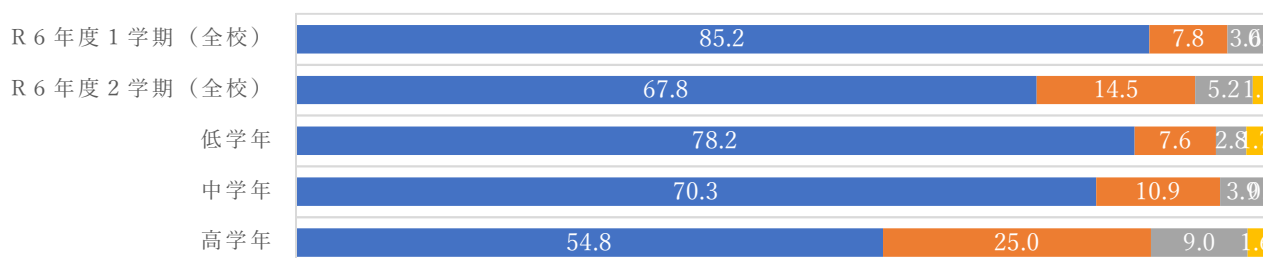
1 学校に来ることが楽しいですか

■A楽しい ■Bだいたい楽しい ■Cあまり楽しくない ■Dぜんぜん楽しくない



2 学校の中で仲の良い友だちはいますか

■Aたくさんいる ■Bすこしいる ■Cあまりいない ■Dぜんぜんいない



◎学校全体に関わって

質問1の学校に来ることが「楽しい・だいたい楽しい」と答えた児童が全体の80%以下となり、一学期と比べて減少しました。また、学校生活の中で楽しさを感じられずにいる児童がいます。質問2の、学校の中に仲の良い友だちが「いる・少しいる」と答えた児童の割合も減少していますが、全校では8割以上の児童が肯定的な回答をしています。学校に来ることが楽しくない理由として、子どもたちの人間関係づくりの困難さにもあるのかもしれないと考えています。児童にとって安心安全な居場所づくりには、児童同士の良好な人間関係が必要不可欠であるため、今後、児童の人間関係が良好なものになるような活動の工夫や言葉かけを考えていきたいと思います。また、児童にとって学校生活の何が楽しくて、何が楽しくないのかを引き続き探るために、児童の観察や日常の会話(面談)を大切にすることや、職員間で情報交換や意見交換を行うことなど、児童理解を深め、学校での楽しい・好きを見つける努力を続けていきたいと思っています。

◎読書・遊びに関わって

3 読書の時間や図書館の時間で本を読むことは楽しいですか

■ A楽しい ■ Bだいたい楽しい ■ Cあまり楽しくない ■ Dぜんぜん楽しくない



1学期と比べて、読書を楽しんでいる児童がやや減少気味ではありますが、約85%の児童が読書を楽しんでいます。令和3年度より、月に一度“うちどくの日”を設け、テレビやインターネット等の様々な情報メディアから離れ、本の世界に没頭することをねらいとした取り組みを行い、各家庭にも協力をお願いしています。その他、授業での本の紹介や読み聞かせ、図書委員会の取り組み等、読書の楽しさが感じられる取り組みを引き続き行っていききたいと思います。

4 グラウンドや体育館、多目的室などで運動や遊びをすることは楽しいですか (高学年：遊んでいますか)

■ A楽しい ■ Bだいたい楽しい ■ Cあまり楽しくない ■ Dぜんぜん楽しくない

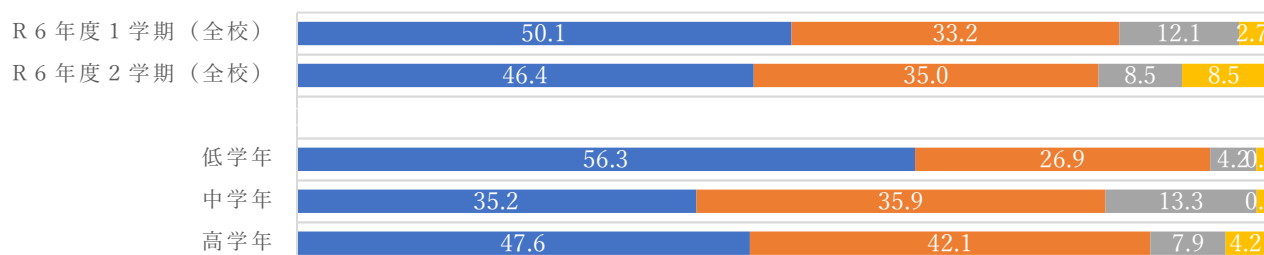


高社小学校の児童は、グラウンドや体育館、多目的室などで体を動かして遊ぶことを好んでいる姿があります。また、室内で本を読んだり絵を描いたりする児童にとっても、休み時間は自分のやりたいことのできるよい時間となっています。休み時間を十分に確保し、子どもたちの心身の成長を促していききたいと思います。

◎学校の具体目標（生活の姿）に関わって

5 学校の中で元気よくあいさつをしていますか

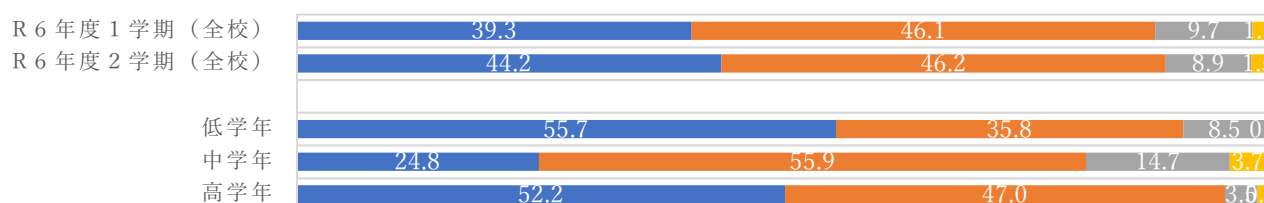
■ Aしている ■ Bだいたいしている ■ Cあまりしていない ■ Dぜんぜんしていない



質問 5 では、挨拶をしていると回答する児童がやや減少しています。1 学期の全校集会で挨拶について取り上げたことで、児童の挨拶の様子が良くなっている印象があります（来校者に「子どもたちが挨拶してくれて嬉しい」と言ってくさる方が増えている）が、アンケートの結果からは、約 17% の児童が挨拶ができていないと感じているようです。3 学期には、代表委員会が挨拶運動を企画し、全校児童が楽しそうに挨拶運動に参加したことで、挨拶することの心地よさや楽しさを感じることができました。今後も、職員が積極的に子どもたちに挨拶をしたり、具体的に挨拶をすることの大切さや良さを学級で話し合ったりしながら、挨拶に対する意識を高めていきたいと思っています。また、代表委員会やライオンズクラブの皆さんに継続して挨拶運動をお願いしていきたいと思っています。

6 口を閉じて時間いっぱい楽をしないでそうじ（くじらのそうじ）をしていますか

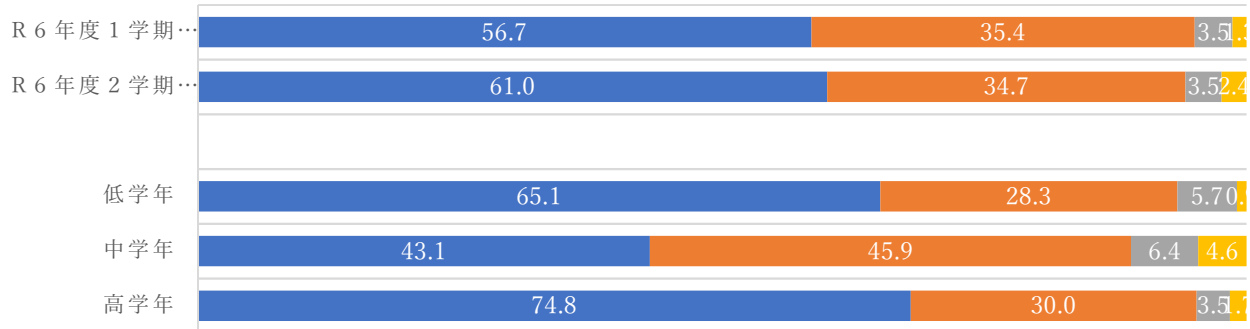
■ Aしている ■ Bだいたいしている ■ Cあまりしていない ■ Dぜんぜんしていない



令和 2 年度から“くじらのそうじ”を合言葉に清掃活動を行っています。1 学期のアンケート結果や日常の清掃の様子から、全体的に“くじらのそうじ”に対する意識が低くなっている印象がありました。そこで、2 学期のスタート時に、「なぜ口を閉じるのか」「楽をしないとはどういうことなのか」「“くじらのそうじ”ができるとどのような利点があるのか」など、学年・学級で再確認をしました。その結果、2 学期は“くじらのそうじ”ができたと感じる児童が増えました。高社中学校の“自問清掃”（「自らの心に問い、自分を人間として成長させる清掃」）につながるように、これからも小学校・中学校の 9 年間を見据えて黙々と清掃に取り組む意味について児童と考えて取り組んでいきたいと思っています。

7 時間のけじめをつけた生活ができていますか

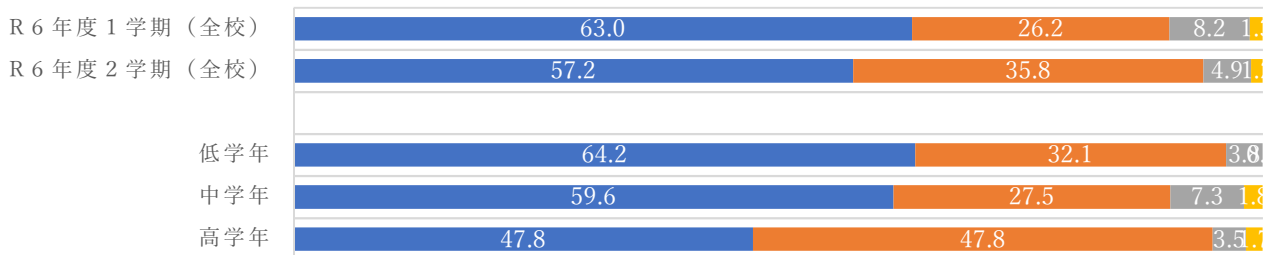
■ Aできている ■ Bだいていできている ■ Cあまりできていない ■ Dぜんぜんできていない



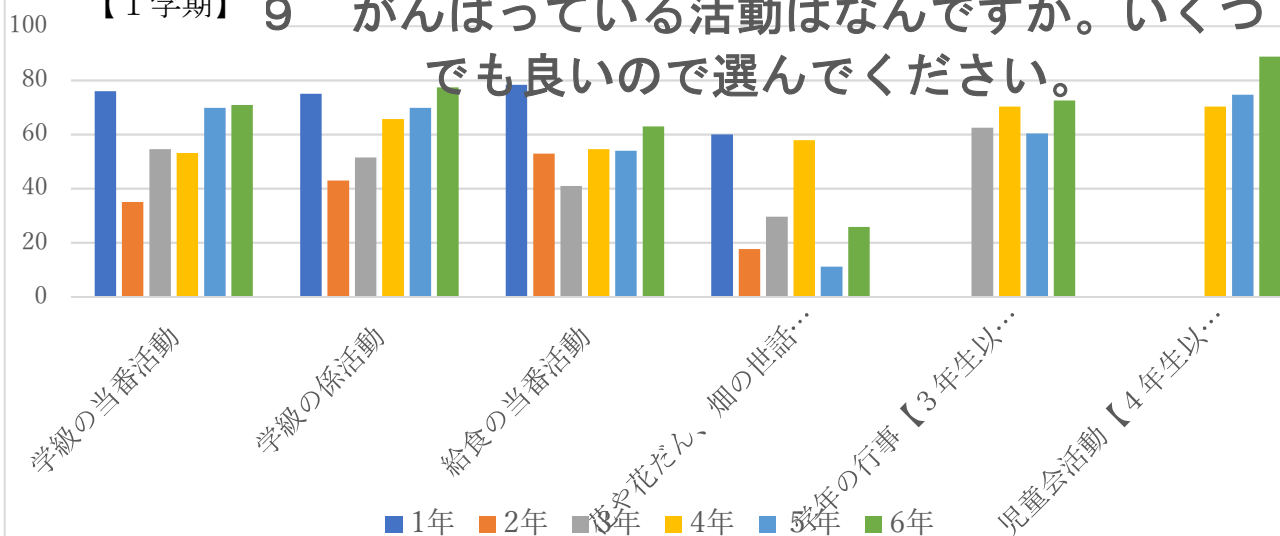
本年度は、昨年度より専科の授業が増えたことで、授業に遅刻しないように移動する機会が増え、時間に対する意識が高まったように思われます。集会の入場も時間通りに行うことができていることがよいと思います。

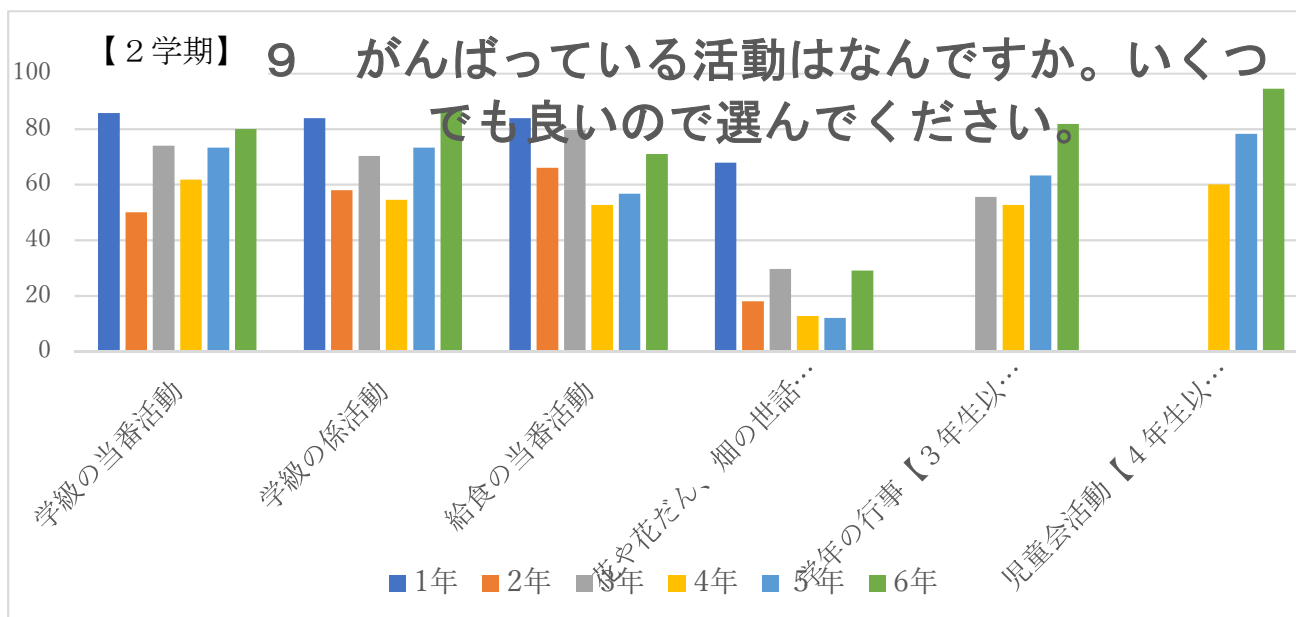
8 げたばこにくつをそろえて入れていますか

■ A入れている ■ Bだいたい入れている ■ Cあまり入れていない ■ Dぜんぜんいれていない



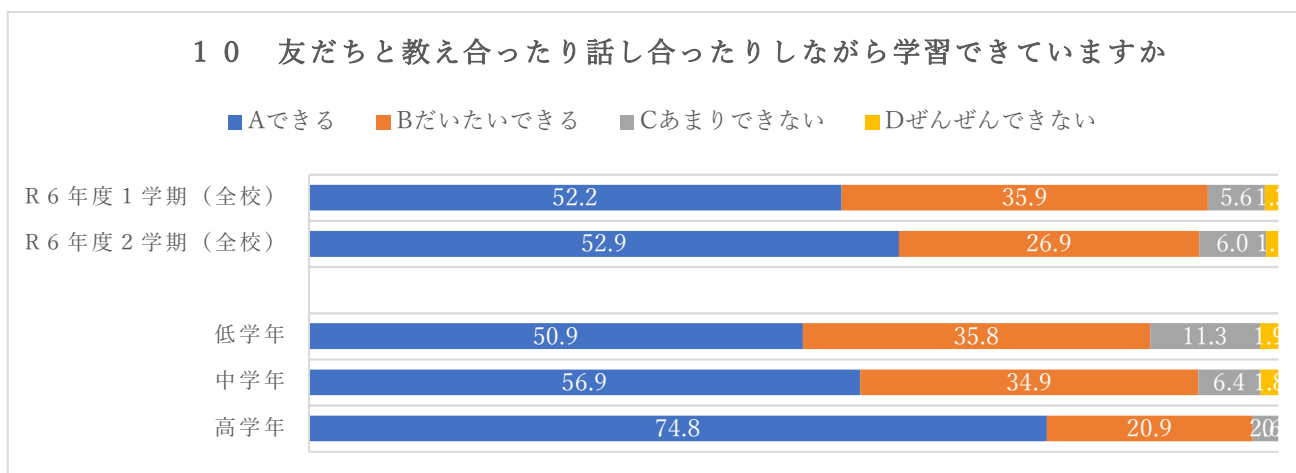
【1 学期】 9 がんばっている活動はなんですか。いくつでも良いので選んでください。





回答から、学級の当番活動や係活動、児童会活動等、様々な場所で児童が自発的に活動しようと努力していることが分かりました。1年生の花や畑の世話の割合が低学年と比較して非常に高いのは、生活科の授業が関係していると思われます。

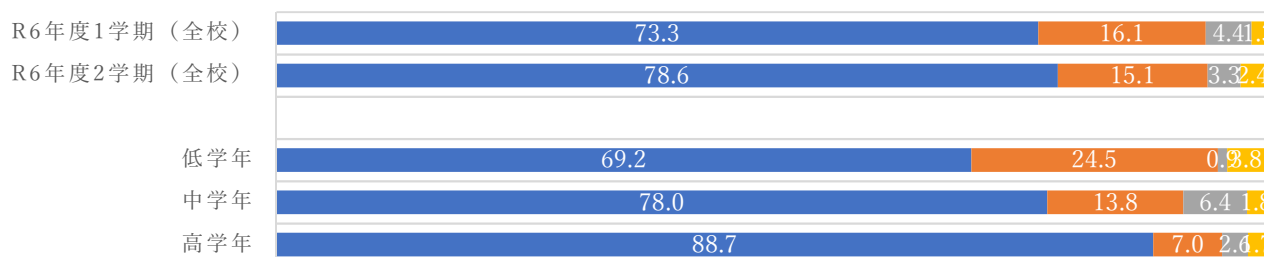
【学習】



質問10の結果から、友だちと話し合ったり、考え合ったりする学び方（学び合い）が、学年が上がるにつれて定着してきている様子があります。高社小学校となって5年目になりますが、統合初年度から職員が学び合う授業とはどのようなものなのかを考え、実践してきている成果だと感じます。本年度は、職員が互いの授業を見合い、語り合う時間を定期的に確保することで、授業力の向上と共に児童理解を図り、児童の「かんがえる・まちがえる・ふりかえる」の学びの姿を大切にしながら、わからないことをわからないと言える安心のある学習集団づくりに努めてきました。これからも、児童が友だちと協働しながら探究する授業を通して、児童の「わかる・できる」につなげていきたいと思ひます。

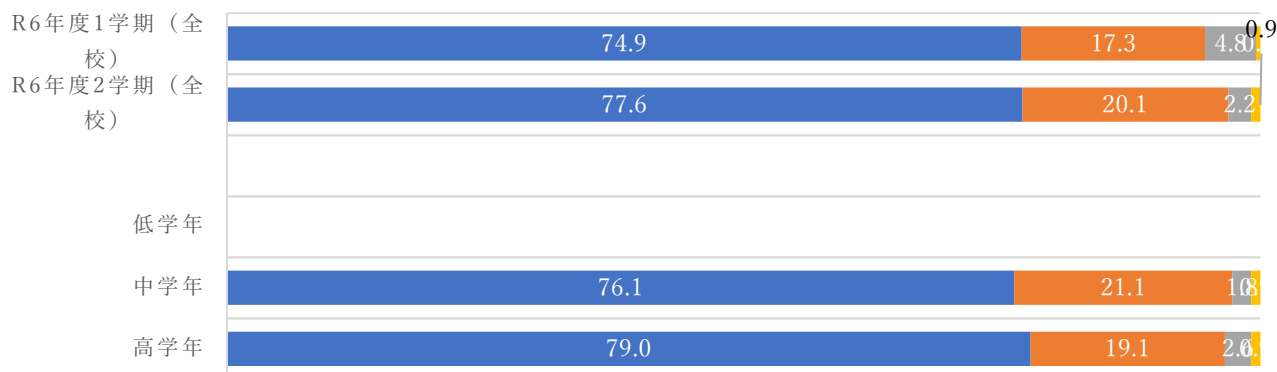
1 2 学校の宿題は進んで取り組めていますか

■ A自分から取り組めている ■ B家の人に言われてからやる ■ Cときどきやらない ■ Dやらない



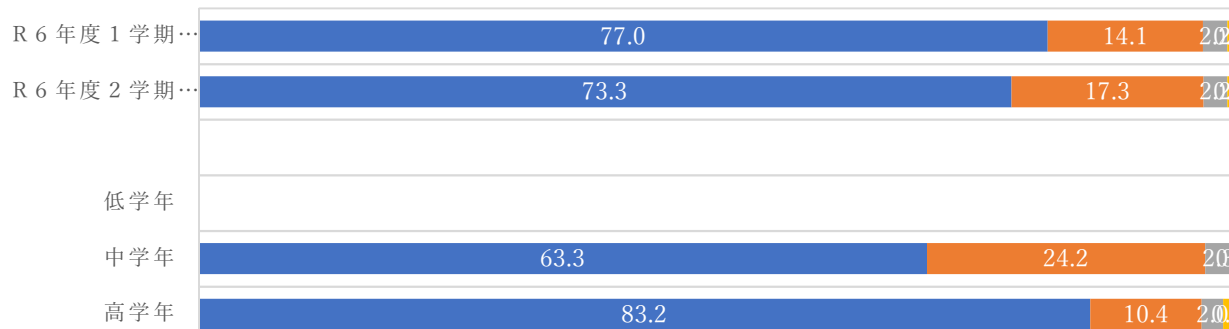
1 3 学校や学級で決められたルールを守ってIPADを使っていますか (中・高学年)

■ A使っている ■ B少し使っている ■ Cあまり使っていない ■ Dぜんぜん使っていない



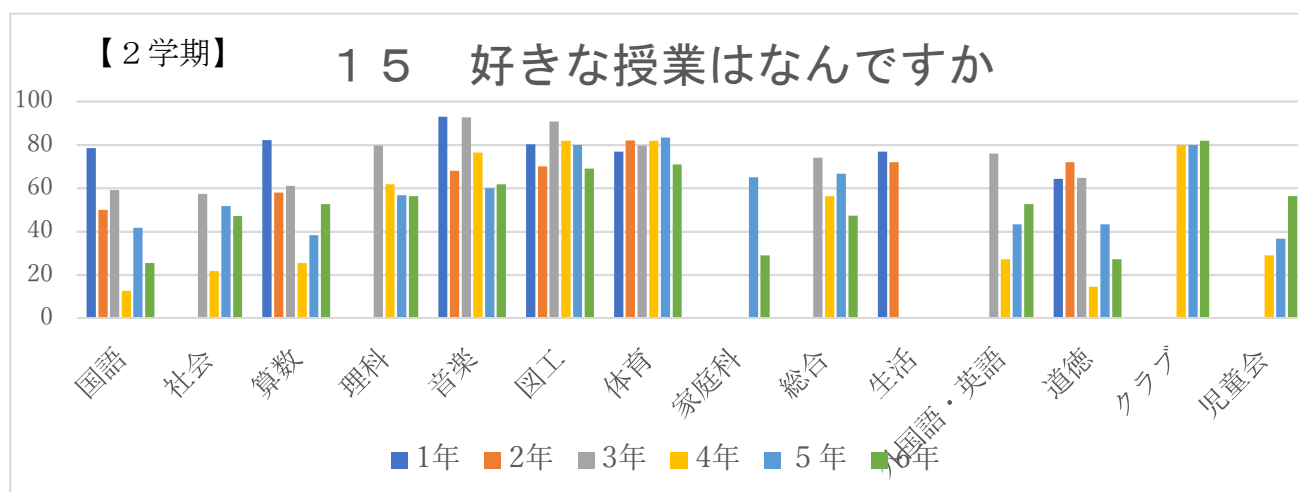
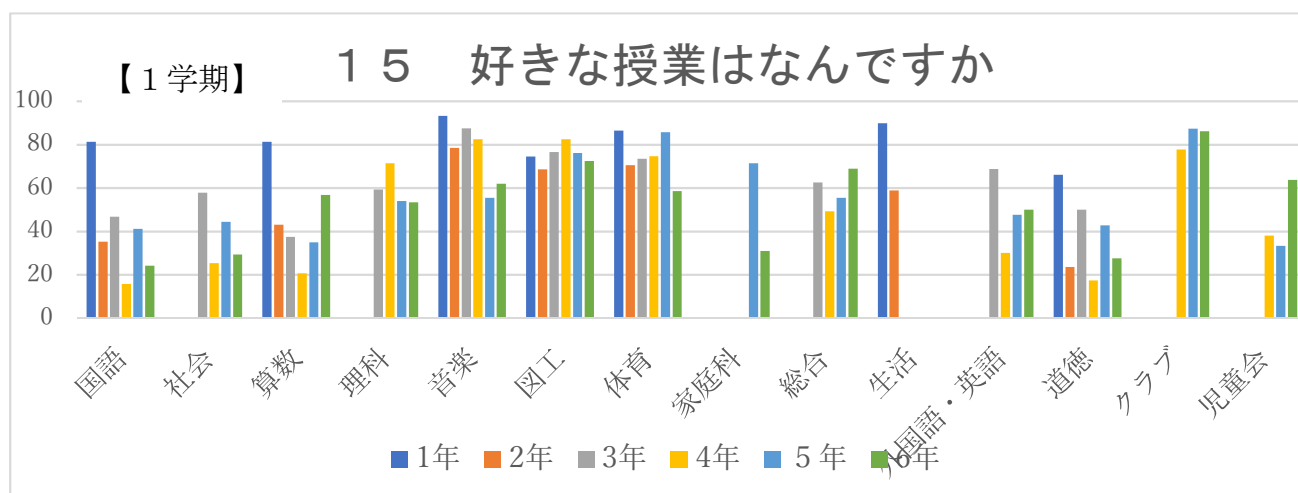
14 IPADを自分の学習に役立てて活用できていますか (中・高学年)

■ A活用している ■ B少し活用している



質問13については、全体的にルールを守ってiPadを使用できていると感じている児童が多いことが伺えます。iPadにおけるトラブルを一方的に禁止するといった指導ではなく、学年・学級で児童と話し合いながら解決してきた成果であると思います。高社小学校のランドデザインに『一人一台端末を自分の必要に応じて活用し、情報を整理、発信して、表現する力を養います』とあるように、子どもたちの情報活用能力を育成するために、積極的に

ICT 端末を活用してきた結果だと感じます。そのような中、質問 1 4 で、多くの児童が「活用している」と回答できていることは嬉しいことです。高学年の多くの児童が「活用している」と回答していることは、低学年から ICT 端末を活用しようと、職員と児童が共に努力してきた成果だと思います。ICT 端末の活用については様々な場面や方法があるため、職員同士の情報交換の機会をとり、より有効的な活用を進めたいと思います。



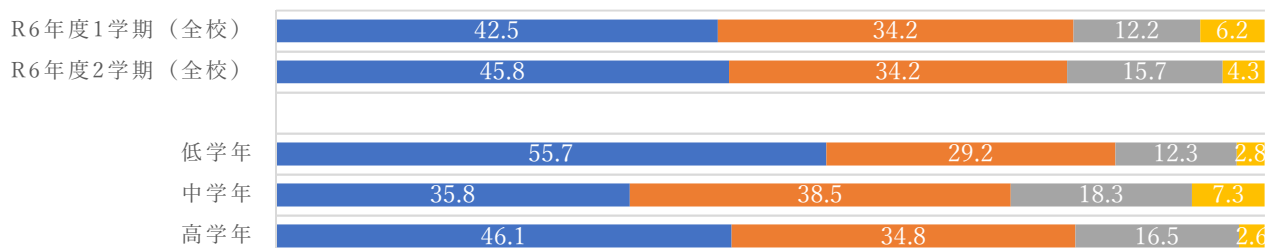
本年度は、昨年度まで学級担任が行っていた算数の授業（3～6 学年）を専科が行っており、対象の学年で 1 学期と比べて、算数が「好き」と答えている児童が増えました。同じように専科の行う理科の授業を「好き」と答える児童が対象の学年で増え、専科教員が授業を行っている成果であると思われます。音楽（専科）・図工・体育・家庭科（専科）といった技能教科を好む児童が多く、授業の中に何か楽しみを見出すことのできる児童が増えたことはよかったと感じます。児童の中には、好きな授業をクラブのみと回答する児童が複数いて、それらの児童が、質問 1 で学校生活が楽しくないと回答していることが心配です。

どの学年にも学習に困難さを感じている児童がいます。そのような児童の気持ちに寄り添いながら授業を行うことで、「苦手だけれど好き」と思える児童を一人でも増やすことができるように授業づくりを進めていきたいと思っています。

【相談事等】

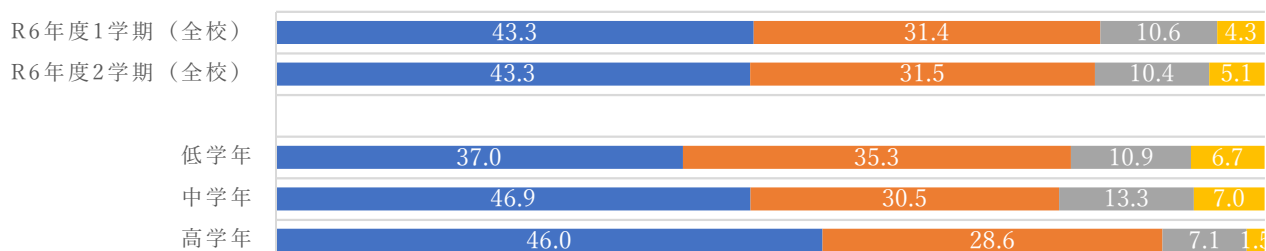
16 困ったときは、先生や友だちに相談していますか。 または、相談しようと思いますか

■ A相談する・しようと思う ■ Bだいたい相談する・しようと思う
■ Cあまり相談しない・しようと思わない ■ Dぜんぜん相談しない・しようと思わない



17 家の人に学校であったことを話しますか

■ Aよく話す ■ Bだいたい話す ■ Cあまり話さない ■ Dぜんぜん話さない



「困ったときは、先生や友だちに相談していますか。」（質問 16）の質問に対して、「相談している・しようと思う」「だいたい相談する・しようと思う」と回答した児童は約 75% で、約 4 人に 1 人の児童が先生や友だちに相談しようと思っていないことが分かりました。何も相談することがないのであればよいのですが、相談したくても相談できない状況をつくらないようにしたいと思います。集計する中で、質問 16 と質問 17 の両方に D と回答している児童がいました。そのような児童は、誰にも何も話さないこととなり、とても心配です。児童にとって自分の困り感を言語化することは難しいことだとは思いますが、相談するだけでなく、何かきっかけをつくって先生や友だち、家族に楽しかったことや悲しかったことなどを伝えたるができるようにしていきたいと思います。

【全体を通して】

アンケート結果から、高社小学校の児童は行事やクラブ活動を好んでいる傾向が伺えます。また、本年度は、毎回の職員会議で児童理解の時間を確保し、全職員で行事や学習での児童のよさを共有してきました。運動会・音楽会・ふれあい児童会まつり・スキー教室・学年行事や授業といった学校生活の様々な場面で、楽しいや好きが感じられるように、今後も一人一人の児童に対して職員がチームで指導にあたり、子どもたちにとって居心地のよい楽しい学校づくりを進めていきます。